

# 日本史B

I 次の設問（問1～15）に答えなさい。解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。

問1 663年、白村江の戦いで大敗を喫した倭（日本）は、大陸からの派兵を警戒して、一時都を  に遷した。

空欄に当てはまる語句として、もっとも適切なものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 飛鳥                      イ 近江                      ウ 長岡                      エ 難波

問2 律令時代の地方組織に関する記述として、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 軍事外交の要地である九州北部には、西海道を統括する大宰府がおかれた。
- イ 駅制が整えられ、一定区間毎に駅家が設けられ、都と地方との連絡に利用された。
- ウ 東北地方においては、出羽国に秋田城、陸奥国に多賀城が築かれ、東北経営の拠点とされた。
- エ 全国は、五畿七道に行政区分され、国・郡・里が置かれたが、国司には地方の有力者が任命された。

問3 8～10世紀頃の東アジアの状況について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 渤海を滅ぼしたのは、契丹（遼）である。
- イ 朝鮮半島は新羅によって統一されたが、日本との国交は全くなかった。
- ウ 奈良時代に、遣唐使は6度派遣され、外交や文化の移入に大きな役割を果たした。
- エ 中国東北部に建国した渤海は、日本に通航を求め、友好的な関係を結ぶことになった。

問4 9～10世紀における藤原氏北家の勢力拡大に関するA～Cの記述について、古いものから順に配列した場合、もっとも適切なものはどれか。ア～カの中から選び、記号で答えなさい。

- A 安和の変において、左大臣源高明が左遷された。
- B 光孝天皇の即位に際して、藤原基経がはじめて関白に任じられた。
- C 藤原良房は、幼少の清和天皇が即位すると天皇の外戚として政治の実権を握った。

ア A-B-C                      イ A-C-B                      ウ B-A-C  
エ B-C-A                      オ C-A-B                      カ C-B-A

問5 室町時代の状況に関する記述について、古いものから順に配列した場合、もっとも適切なものはどれか。ア～カの中から選び、記号で答えなさい。

- A 嘉吉の乱とは、専制的な将軍が有力守護に殺害された一件である。
- B 永享の乱とは、幕府に反抗的な姿勢を示した鎌倉公方が討ち滅ぼされた一件である。
- C 応仁の乱とは、相統問題に端を発し、守護大名が東軍・西軍に分かれて争った一件である。

ア A-B-C                      イ A-C-B                      ウ B-A-C  
エ B-C-A                      オ C-A-B                      カ C-B-A

問6 日本における神仏の関係に関する記述について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 奈良時代頃から、神社に付属して神宮寺が建てられるようになった。
- イ 平安時代には、神は仏の仮の姿であるとする本地垂迹説が広まった。
- ウ 鎌倉時代には、神道側から神を主とし、仏を従とする反本地垂迹説がうまれた。
- エ 江戸時代には、宗門改めの実施にともなって神仏分離令が出された。

問7 暦に関する記述について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア いわゆる旧暦は、太陰太陽暦に基づく暦のことである。
- イ 日本では、明治期に至るまで、中国で作られた暦を利用していた。
- ウ 日本で太陽暦が採用されたのは、明治5年（1872年）のことであり、翌年より施行された。
- エ 日本においてももっとも長期にわたって使用された暦は、中国の唐の時代に作られた宣明暦である。

問8 次の戦国大名に関する記述について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 北条早雲は、伊勢氏を称し、小田原を本拠に領国を経営した。
- イ 毛利氏は、周防・長門の守護に任じられ、元就の時代には、中国地方など10カ国を領有した。
- ウ 今川氏は、足利尊氏の下で駿河・遠江の守護に任じられ、義元の時代には駿河・遠江・三河を支配した。
- エ 武田氏は、鎌倉時代より甲斐国の守護に任じられ、信玄の時代には領国を拡張し、北信濃の領有をめぐって越後の上杉謙信と争った。

問9 江戸幕府と朝鮮との関係に関する記述について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 新井白石は、朝鮮通信使に対する待遇の簡素化をはかった。
- イ 朝鮮の釜山には倭館が設置され、外交・貿易を担当する対馬藩の役人が派遣された。
- ウ 対馬藩の宗氏は、朝鮮との間に己酉約条を結び、朝鮮外交における特権的地位を認められた。
- エ 朝鮮との国交回復を果たした江戸幕府は、朝鮮との間で相互に通信使を派遣しあうことを取り決めた。

問10 江戸時代の朝廷と幕府との関係に関する記述について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 幕府は、禁中並公家諸法度を制定し、朝廷統制の基準を示した。
- イ 二代将軍徳川秀忠は、娘和子（東福門院）を、後水尾天皇に入内させた。
- ウ 三代将軍徳川家光は、閑院宮家を創設して、朝廷との結びつきを深めようとした。
- エ 五代将軍徳川綱吉は、断絶していた朝廷儀式、大嘗祭や賀茂葵祭などを復活させた。

問11 江戸時代の経済に関する記述について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 大坂は「天下の台所」と称され、物資の集散地として栄えた。
- イ 江戸時代、東日本は主として銀が遣われ、西日本ではおもに金で取引がなされた。
- ウ 諸藩は大坂に蔵屋敷をおき、領内の年貢米や特産物である蔵物を送り、販売することで貨幣を獲得した。
- エ 17世紀後半になると、諸藩では城下町を中心とする藩経済の発展にともない、領内のみで通用する藩札を発行する藩もあらわれた。

問12 江戸～明治期における琉球に関する記述について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 琉球は、江戸幕府に対して慶賀使と謝恩使を派遣した。
- イ 明治政府は琉球の強い要請を受けて、1879年（明治12年）に琉球を沖縄県とした。
- ウ 明治政府は1872年（明治5年）、琉球藩を設置し、琉球国王であった尚泰を藩王とした。
- エ 琉球は、江戸時代以来、事実上薩摩藩（島津氏）の支配下にあったが、同時に名目は清国を宗主国とするという複雑な関係にあった。

問13 日清戦争に関連した記述について、明らかに誤っているものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア この戦争が終わると、ヨーロッパ列強の中国進出が強まった。
- イ 下関条約が結ばれ、日本は2億兩の賠償金を得ることになった。
- ウ この戦争の結果、清国は朝鮮への宗主権を放棄し、その独立を認めた。
- エ ロシアは、フランス・イギリスとともに、日本に割譲された遼東半島の返還を要求した。

問14 第一次世界大戦期における日本の政治・外交に関する記述について、もっとも適切なものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 海軍の青年将校たちによるクーデタ未遂事件を経て、挙国一致内閣が成立した。
- イ 青鞆社が結成されるなど女性解放運動が全国的に広がった結果、婦人参政権が認められた。
- ウ 内閣に対する軍部の影響力を強化するため、陸軍大臣・海軍大臣の任命を現役の大將・中將に限定する制度が定められた。
- エ 日本の中国における特殊権益と、日米両国で中国の領土保全、門戸開放、機会均等などを確認し合う、石井・ランシング協定が結ばれた。

問15 大正期の末から昭和の初めにかけては、社会主義運動・労働運動の高揚にともなって、それを反映した  文学運動もおこり、『種蒔く人』や『戦旗』などの機関誌も発行された。  
空欄に当てはまる語句として、もっとも適切なものを、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自然主義
- イ ブルジョワ
- ウ ロマン主義
- エ プロレタリア

Ⅱ 次の文中の空欄A～Gについて、最も適する語句を解答欄に記入しなさい。

(1) 平安時代の末期には戦乱や災害による社会不安が増大し、この世は仏の教えもすたれるとする  思想が広まり、貴族のみならず武士や庶民の間でも信じられるようになった。そのような中で極楽浄土への往生を願う浄土教の教えが盛んになり、  は「南無阿弥陀仏」を唱えれば誰もが救われるという浄土宗を開いた。また「悪人正機説」を説いた  の教えは、やがて浄土真宗（一向宗）と呼ばれる教団を形成した。同じ浄土教の流れをくむ  は、踊念仏によって時宗をひろめた。

(2) 明治政府は憲法の制定を進め、初代内閣総理大臣の  は、ドイツの憲法を範とした草案を作らせ、枢密院で審議を重ね、後の大日本帝国憲法を作った。この憲法は、1889年に欽定憲法として発布され、  主権の下、議会は衆議院と  との二院制をとるものとなった。

Ⅲ つぎの問に対し、150字程度で答えなさい。解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。

文禄・慶長の役について、知るところを述べなさい。